

福井市民の歌

わたしのまち

ときめきのまち

宮下義則 作詞／島田陽子 補作詞

榊原政敏 作曲／島津秀雄 編曲

1. あじさいの花に つつまれて そぞろ歩きの 足羽山
朝つゆにぬれた 花びらに キラリ 輝く 陽の光り
こんなまちです わたしのまちは ほのぼのと ころろ和むまちです
2. 潮風に向かい たたずめば 青く果てない 日本海
打ちよせる波の リズムにも 若いいのちは ひびきあう
こんなまちです わたしのまちは いきいきと 夢が育つまちです
3. 不死鳥のまちを ゆったりと みどり映して 川はゆく
旅立ちの朝の ときめきを ひとはいまこそ 抱きしめる
こんなまちです わたしのまちは はればれと 未来をめざすまちです

「わたしのまち ときめきのまち」は、福井市政100周年を記念して制作された福井市民の歌です。
未来に向けて旅立つ福井、人、自然をイメージし、将来に向かって子どもから大人まで幅広く
親しまれる歌をテーマに歌詞を公募し、選ばれた歌詞に専門家が作曲しました。
様々な機会に歌われ、広く市民に愛されています。



FSC®は国際的な森林認定制度を運営する非営利組織です。
この冊子に使われている紙は、適切に管理された FSC® 認証
林及びその他の管理された供給源からの原材料で作られてい
ます。この紙を使用することは、森林を守り育てることに役
立ちます。



不死鳥のねがい
福井市市民憲章

不死鳥のねがい60th 発行 2025年3月

不死鳥のねがい（福井市市民憲章）推進協議会事務局
福井市教育委員会事務局 生涯学習課
福井市大手3丁目10番1号
TEL.20-5361 FAX.20-5338
E-mail syougai@city.fukui.lg.jp



市民憲章については
QRコードから

※「QRコード」は関デンソーウェブの登録商標です。



不死鳥のねがい 60th

— 福井市市民憲章 —



「永遠の祈り」
市民憲章デザインコンテスト最優秀賞

不死鳥のねがい(福井市市民憲章)推進協議会

不死鳥のねがい 福井市市民憲章

わたくしたちは
不死鳥福井の市民であることに
誇りと責任を感じ
郷土の繁栄と幸福をきずくため
力をあわせ 不屈の気概をもって
このねがいをつらぬきましょう



実践目標期間（2024年4月～2029年3月）

1 すすんで 親切をつくし
愛情ゆたかなまちを つくりましょう

声かけと 笑顔でうまれる 地域の輪

2 すすんで 健康にこころがけ
明朗で活気あるまちを つくりましょう

スポーツで 心も体も さわやかに

3 すすんで くふうをこらし
清潔で美しいまちを つくりましょう

まちの美化 広がる緑と豊かな心

4 すすんで きまりを守り
安全で住みよいまちを つくりましょう

防犯防災 日々の声かけ 心がけ

5 すすんで 教育を重んじ
清新な文化のまちを つくりましょう

伝えよう 私が知ってる 福いいネ！

（1964年6月28日制定）

不死鳥とは、伝説上の霊鳥フェニックスのことです。形はワシに似て、赤や金の翼を持っています。死期が来ると、みずから燃える火の中に入って焼かれ、その灰の中から再生するといわれています。

戦災や震災などのたび重なる災禍にもめげず、再び三たび立ち上がった福井市民の努力は、まさに不死鳥（フェニックス）の姿にも似ているところから、不死鳥が福井市民及び福井市のシンボルとなっています。

CONTENTS



目次

市民憲章	不死鳥のねがいー福井市市民憲章ー
あいさつ	2
不死鳥のねがい（福井市市民憲章）推進協議会 会長 西行 茂（福井市長） 福井市議会 議長 池上 優徳	

60年のあゆみ

市民憲章ができるまで	4
不死鳥のねがいー福井市市民憲章ーの誕生 制定過程の概要と推進協議会の結成 制定後の展開	
60年のあしあと	6

市民憲章の推進

市民憲章5部門の実践内容	11
親切奉仕部門、健康増進部門、郷土美化部門、安全安心部門、文化教養部門	
団体活動紹介	16
不死鳥のねがい（福井市市民憲章）推進協議会の主な事業	19
不死鳥のねがい（福井市市民憲章）推進協議会・総会 市民憲章制定記念日 花いっぱい運動 市民一斉清掃 花壇コンクール 支部活動	

記念事業

実行委員長あいさつ	33
市民憲章制定60周年記念事業実行委員長 吉川 雄二（福井市教育長）	
不死鳥のねがい（福井市市民憲章）制定60周年記念大会	34
不死鳥のねがい（福井市市民憲章）制定60周年記念事業	38
市民憲章デザインコンテスト、夏期巡回ラジオ体操・みんなの体操会、越前朝倉万灯夜、 福井市子ども会写生大会、クリーンアップ作戦、はたちのつどい、市民憲章多言語化	

一言提言

福井市を「こんなまちにしたい！」	44
------------------	----

資料

令和6年度不死鳥のねがい（福井市市民憲章）推進協議会役員名簿	50
市民憲章制定60周年記念事業実行委員会名簿	51



不死鳥のねがい(福井市市民憲章)推進協議会
会長 西行 茂 (福井市長)

発刊にあたって

本市は、昭和20年の戦災、昭和23年の震災、風水害といったたび重なる災禍にもめげず、不死鳥の如く、まちを蘇らせてきました。

そういった先人たちの「不屈の精神」と「燃える郷土愛」から生まれたのが『不死鳥のねがいー福井市市民憲章ー』であります。

この「自らが、何事にも、すすんで取り組む」という市民憲章の精神は、「一斉清掃」や「自主防災活動」といった地域活動はもとより、市民一人ひとりが実践できる「あいさつをする」「スポーツを楽しむ」といったところまで広く浸透し、制定から60年、いくつもの時代を経た今でも、色褪せることなくまちづくりの目標、市民の心のよりどころとして親しまれております。

この『ねがい』を次世代に継承していくことはもちろんであります。60年という「還暦」を迎えた節目を機に、焼け野原から現在の県都・福井を築き上げ、この市民憲章を創り上げた先人たちの思いに今一度立ち返り、前文に込められた言葉を噛み締めながら、市民一人ひとりが自分たちのまちは自分たちの手でより良くしようとの思いを強く持つことが重要になります。

市民の皆様におかれましては、将来の予測が困難な時代にあっても「すすんで」自らができることに取り組んでいただくことで、みんなが輝く、全国に誇れる住みよいまちを築いていけるよう、市民憲章運動の更なる拡大に向け御理解と御協力をお願い申し上げます。

最後に、この市民憲章運動の60年に及ぶ経緯や様々な取組について冊子にまとめましたので、今後の皆様の活動の一助としていただければ幸甚に存じます。



福井市議会
議長 池上 優徳

発刊を祝して

このたび、『不死鳥のねがいー福井市市民憲章ー』が制定から60周年を迎えられ、ここに記念誌を発刊されますことは、誠に喜ばしく心からお祝い申し上げます。

『不死鳥のねがいー福井市市民憲章ー』は、まちづくりや生活の目標を簡潔明瞭に、そして、親しみやすい言葉で表しており、市議会をはじめ、様々な機会において唱和され、多くの市民に親しまれております。

この市民憲章は、戦災や震災といった災禍から不死鳥の如く復興を成し遂げた福井市民の心のよりどころとするため、市民の総意に基づき考え出され、市議会において全会一致による決議の後、昭和39年6月28日に制定されました。

制定から60年、令和6年3月16日の北陸新幹線の福井開業をはじめとして、ふるさと福井が、全国でも有数の暮らしやすいまちに発展しておりますことは誠に感慨深く、喜びに堪えません。

しかし、その一方で、想定を超える自然災害の頻発、急速に進む少子高齢化、地域の担い手不足といった新たな課題も発生しております。

このような、先の見通せない社会情勢の中でも、「すすんで」から始まる市民憲章を心の糧に、市民同士が温かくも強い絆で結ばれた心豊かなまちとなるよう、市議会といたしましても行政と連携しながら、一層の努力を重ねていきたいと思っております。

結びに、60周年を契機として、『不死鳥のねがいー福井市市民憲章ー』がこれからも皆様の変わらぬ御協力のもと、更なる普及と実践運動の充実が図られることで、市民の心のよりどころとして永遠に受け継がれますことを心から祈念申し上げまして、お祝いの言葉といたします。

市民憲章ができるまで

不死鳥のねがいー福井市市民憲章ーの誕生

福井市は、昭和20年の戦災をはじめ、昭和23年の大震災、その1か月後の水害とたび重なる災害を受けましたが、これらの災禍を乗り越え、永遠の生命を保有する不死鳥の如く、まちの復興を図ってきました。

昭和27年に至り、一応の復興が成り、これを記念し「新しい理想に基づく郷土と郷土精神の創造」をうたった福井復興博覧会が福井大学と足羽山公園を会場に盛大に開催されました。これにより、戦災と震災からの復興と新たな福井市の建設に向けた展望が開かれました。

かくして、本市は、全国でも稀な復興建設の実をあげるとともに、都市計画、下水道建設の都市基盤整備や教育文化の振興、産業開発が着々と進み、近代的文化都市へと変貌を遂げられました。また、当時の全国的な高度経済成長の波に乗り、市民生活はより豊かで便利なものになってきました。

一方、これら外面的復興建設、物質的繁栄に並行して、内面的精神面の充実が伴わなければ、真に明るく、住みよい郷土の建設は不可能です。そのために、市民一人ひとりが共同社会を担う一員としての自覚を高め、温かく思いやりのある人間性の高揚を図ることが大きな課題となってきました。

そこで、輝かしい復興を成し遂げた不屈の精神と燃える郷土愛を福井市市民憲章として制定し、当時の16万市民の心よりどころとすることが考えられたのです。



福井空襲（昭和20年7月）



福井大震災（昭和23年6月28日）



下水道整備工事（都市基盤整備）

制定過程の概要と推進協議会の結成

市民憲章は、全市民自らの積極的な発意に基づく制定でありたいということで、昭和39年1月20日、議会をはじめ各界各層を代表する28名の委員を選出し、同年1月27日、第1回の市民憲章制定委員会を開き検討を始めた。

その後、各方面からの要望により委員6名を追加するとともに起草小委員会を設置し、名称、形式、内容等の検討を重ね、同年3月9日、制定委員会において討議決議され、原案が市長に提出されました。

名称は、本市がたび重なる災禍から不死鳥の如く蘇ってきたことや、福井復興博覧会のシンボルマークが「不死鳥」であったことから、「不死鳥のねがい」とし「福井市市民憲章」を副題とすることに決定しました。

その後、同年3月25日、市議会の本議会で議会提案の形で上程され、全会一致で決議正案となりました。同年5月27日、発起人45名が参加し、市役所において推進協議会設立発起人会が開催されました。

同年6月22日、「不死鳥のねがい（福井市市民憲章）推進協議会設立総会」を開催して、不死鳥の名にちなみ震災記念日である6月28日を制定日と定め、同日を期して一斉に市民への実践・啓発がスタートしました。



福井復興博覧会（昭和27年）



市政週報



市民憲章制定（昭和39年6月28日）

制定後の展開

市民憲章制定以来、市や地域の会議冒頭において唱和を行うほか、地域や公民館、学校、各種団体等が、市民憲章に沿った様々なまちづくり活動が続けてきました。

平成21年、市民憲章制定45年の節目に、もう一度この憲章に目を向け、市民一人ひとりが、より具体的に知り組んでもらえるよう、また、日常生活の中で市民憲章を身近に感じ、実践をととして、福井市民として誇りと不死鳥の精神を培ってほしいとの願いから、5つの項目に具体的な目標（実践目標）を設定しました。

実践目標は、より現実に即した目標とするため、定期的に見直すこととし、平成23年4月に一部を見直しました。さらに、平成25年には、制定50周年記念事業の一環として、一般公募を行い、平成26年4月に新たな実践目標を設定しました。以後、市民から案を募集する方法が定着し、平成31年4月の福井市の中核市移行、令和6年3月の北陸新幹線福井開業といった、節目にあわせて実践目標の見直しを行っています。

60年のあしあと

市民憲章関係のできごと

市民憲章制定案を市議会に上程、全会一致で決議
制定案は市民憲章制定委員会で調査研究の上決定

不死鳥のねがい（福井市市民憲章）推進協議会設立総会（公会堂）
規則、役員決定（島田市長が会長に就任）5部会が発足する

不死鳥のねがい（福井市市民憲章）制定
制定記念式典「市民のつどい」開催（市公会堂）



不死鳥のねがい（福井市市民憲章）推進協議会支部結成
（各地区公民館）

市民憲章制定1周年を迎え、
“不死鳥のねがい”制定市民のつどい開催

市民運動推進大会開催（文化会館）

小中学校で「小さな親切」運動展開

市民憲章制定10周年
記念大会及び推進大会開催
（中央公民館）



雪どけの福井を美しくする清掃運動実施
※現在「春の福井市を美しくする運動」として継続

社会のできごと

S39.3.25

S39.6.22

S39.6.28

S39.11.

S40.6.28

S43.5.27

S44.5.

S49.6.28

S50.3.

39.6.16 新潟地震

39.10.1 東海道新幹線開業
39.10.10 東京オリンピック開催

40.11. 第1回公民館祭開催
42.5.17 川西町編入
42.7.30 森田町編入

43.10. 福井国体開催

45.3.15 大阪万国博覧会
46.7.29 一乗谷朝倉氏遺跡
国の特別史跡に
46.9.1 足羽町編入

50.6.1 市本庁舎本館落成
50.7.20 沖縄海洋博覧会開催

市民憲章関係のできごと

市花（アジサイ）、市木（マツ）の記念植樹
（地区公民館、小学校）

市民憲章制定15周年
記念大会開催
（文化会館）



雪ふる前の福井を美しくする運動実施
※現在「秋・冬の福井市を美しくする運動」として継続

市民憲章制定20周年
記念大会
「フェニックスのつどい」開催
（中央公園）



市民憲章運動推進
第20回全国大会開催
（フェニックス・プラザ）



市民協力金制度発足（一世帯50円）

市民憲章制定25周年
記念大会開催
（フェニックス・プラザ）



市民憲章のつどい開催

社会のできごと

S54.6.

S54.6.19

S57.11.

S59.6.28

S60.11.14-15

S62.4.

H1.6.25

H3.11.28

54.6.1 市花、市木制定を告示

56.1.15 56 豪雪
57.5.25 ニューブランド
ウィック市と姉妹都市

60.3.17 つくば科学万博開催

61.5. 九十九橋架替完成

元.4.24 市制100周年記念式典
元.11.5 フラトン市と姉妹都市
元.11.25 杭州市と友好都市
2.4.1 花の万博開催

5.6.17 養浩館庭園復元

市民憲章関係のできごと

市民憲章制定30周年
記念大会開催
(フェニックス・プラザ)



第1回不死鳥のねがい(福井市市民憲章)推進体制検討委員会開催
委員6名委嘱、計10回開催

不死鳥のねがい(福井市市民憲章)検討委員会報告
「これからの市民憲章運動推進のあり方について」

市民憲章制定40周年
記念大会開催
(フェニックス・プラザ)



市民憲章 実践目標設定
設定期間：平成 21.1.1～23.3.31

市民憲章 実践目標改定
設定期間：平成 23.4.1～25.3.31

市民憲章 実践目標設定期間延長
設定期間：平成 23.4.1～26.3.31

市民憲章 実践目標改定
設定期間：平成 26.4.1～31.3.31
(初めて市民公募を実施、これ以降公募が定着)

市民憲章ロゴマーク決定
(不死鳥のねがい(福井市市民憲章)推進協議会 総会・研修会)

社会のできごと

H6.11.19 6.11.16 熊本市と国内初の姉妹都市

7.1.17 阪神・淡路大震災

H8.3.18 9.1.2 ロシアタンカー重油流出事故

H10.3. 12.11.1 福井市、特例市に移行

13.12.22 水原市(韓国)と友好都市

14.4.13 結城市と友好都市

16.7.18 福井豪雨

H16.12.4 17.3.25 愛・地球博開会
17.4.JR 福井駅高架化完成
18.2.1 福井市、美山町、越前村、
清水町が合併「新福井市」誕生
19.4.19 手寄再開発ビル
「アオッサ」開業

H21.1.1 21.6.7 第60回全国植樹祭開催
(一乗谷朝倉氏遺跡)

H23.4.1 23.3.11 東日本大震災
24.8.19 北陸新幹線金沢・敦賀間着工

H25.4.1. 25.10.5 JAXA と協定締結

H26.4.1

H26.5.30

市民憲章関係のできごと

市民憲章制定50周年
記念大会開催
(文化会館)



「不死鳥のねがい(福井市市民憲章)」
刻書樹立受領式(市民ホール)
河合清仙氏(書道家) 寄贈



国体・障スポ前の福井市を美しくする運動

市民憲章 実践目標改定
設定期間：平成 31.4.1～令和 4.3.31

新実践目標啓発パネル展(市民ホール)

新実践目標啓発パネル展(アオッサ5階)

組織・事業の見直し
支部・部会活動の活性化、賛同団体の見直し
(委員数の3割削減)、副会長増員(3名)

中央公園再整備による市民憲章文記念碑、市民憲章推進塔移設



市民憲章 実践目標設定期間延長
設定期間：平成 31.4.1～令和 6.3.31

社会のできごと

H26.6.28 27.3.14
北陸新幹線金沢開業

H28.6.21 28.3.27
福井駅西口広場供用開始
28.4.14 熊本地震
28.4.28 西口再開発ビル
「ハピリン」開業

H30.9.2-9 30.9.「福井しあわせ元気」国体
・障害者スポーツ大会開催

H31.4.1 31.4.1 福井市、中核市に移行

H31.4.1-25 元.5.1「令和」に改元
元.5.20 一乗谷朝倉氏遺跡
日本遺産認定

R1.7.9-16 元.12～新型コロナウイルス
感染症世界的大流行

R2.2.18

R2.3.

R3.6.23 3.7.23 東京オリンピック・
パラリンピック開会

市民憲章関係のできごと

新幹線開業150日前記念
クリーンアップ作戦
(福井駅周辺、一乗谷朝倉氏遺跡)



北陸新幹線開業直前！春の福井市を美しくする運動

ふくい桜まつり花ポット配布
(中央公園)
福井市を美しくする会連絡協議会
との共催



市民憲章 実践目標改定
設定期間：
令和 6.4.1～11.3.31



新実践目標啓発パネル設置 (木ごころ文化ホール)

市民憲章制定60周年記念 夏期巡回ラジオ体操・
みんなの体操会 (フットボールセンター)

越前朝倉万灯夜 (一乗谷朝倉氏遺跡)
キャンドルで不死鳥マークを作成

クリーンアップ作戦 (福井駅周辺、一乗谷朝倉氏遺跡)

福井市子ども会写生大会表彰式 (アオッサ)
「市民憲章特別賞」を授与

市民憲章制定60周年記念大会開催 (県生活学習館)

令和 6 年度福井市はたちのつどい (フェニックス・プラザ)

社会のできごと

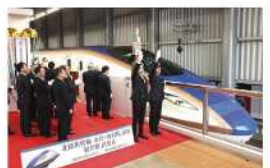
R5.9.24

4.7.23 福井市・結城市友好都市提携
20周年記念セレモニー開催

R6.3.10-17

6.1.1 能登半島地震

6.3.16 北陸新幹線福井開業



6.3.31 第1回ふくい桜マラソン開催

R6.3.23

R6.4.1

R6.6.25

R6.7.30

R6.8.24-25

R6.9.28

R6.10.20

R6.11.30

R7.3.23

6.7.21 福井市・熊本市姉妹都市提携
30周年記念事業開催

6.8.30 福井市水道事業100周年
記念式典開催

6.10.20 全国育樹祭開催



詳しくは QR コードから

親切奉仕部門の実践内容



1 すすんで 親切をつくし 愛情ゆたかなまちを つくりましょう

実践内容

1. あいさつや感謝のことばなど、家庭での実践を大切に、地域に広げる。
2. 互いに助け合いの心を持ち、支え合い、心豊かな社会をきずく。
3. 小さな親切でも、大きな勇気を持って行う。
4. すすんでボランティア活動に参加し、奉仕の心を養う。
5. 高齢者や体の不自由な人たちによりそい、いたわりの心を持つ。
6. 自治会や団体での融和をはかり、地域の連帯感をきずく。
7. 募金、義援金など、助け合い運動に協力する。
8. 動・植物をいっくしみ、優しい心を養う。
9. 自分から明るくあいさつをかわし、誰にでも親切な態度で接する。
10. 多様性を認め合い、愛情をもって温かく、平等に分け隔てなくふれあう。



新 実践目標 声かけと 笑顔でうまれる 地域の輪

実践目標の変遷 (親切奉仕)

- あいさつは まず私から 声かけよう (H21.1～H23.3)
- とどけよう 明るいあいさつ 感謝のことば (H26.4～H31.3)
- // (H23.4～H26.3)
- あいさつで ふれあうよろこび 深める絆 (H31.4～R6.3)

市民憲章とSDGs



健康増進部門の実践内容



2

すすんで 健康にころがけ 明朗で活気あるまちを 作りましょう

実践内容

1. 健康の大切さを自覚し、自分の健康は自分で守る。
2. 自分の体力に合わせた運動を、毎日続けることを心がける。
3. 家族みんなでスポーツ・レクリエーションを楽しむ。
4. 定期的に、健康診断や人間ドックを受ける。
5. 食生活を見直し、栄養のバランスを整えた食事を心がける。
6. 病気に対する正しい知識を学び、予防につとめる。
7. 職場や地域で、ラジオ体操など手軽な体操を活用する。
8. 地域における各種スポーツイベントに積極的に参加する。
9. みんなで公園やスポーツ施設を、積極的に活用する。
10. 手軽にできる運動でストレスを分散し、心の健康を保つ。



新 実践目標 スポーツで 心も体も さわやかに

実践目標の変遷（健康増進）

- 家族そろって 早ね早おき朝ごはん (H21.1～H23.3)
- みんな仲よく健康で 心も体もすこやかに (H26.4～H31.3)
- 家族で歩こう 心も体も健康に (H23.4～H26.3)
- スポーツで 広がれつながれ 元気の輪 (H31.4～R6.3)

市民憲章とSDGs

『不死鳥のねがいー福井市市民憲章ー』は、郷土の誇りと愛着を通じて、私たち自らの手で、より豊かで住みよい福井市を築くことを目的としており、『憲章文』に加え、実践活動の指針となる『実践内容』、市民一人ひとりが日常の中で取り組むことができるような具体的な『実践目標』があり、これらは『SDGs』の精神にも通じています。

『SDGs』は、遠くの問題でも難しい話でもなく、身近な活動を継続し、広げていくことで取り組むことができます。

郷土美化部門の実践内容



3

すすんで くふうをこらし 清潔で美しいまちを 作りましょう

実践内容

1. 街路樹や公園の樹木、草花を大切にする。
2. 花壇づくりに取り組み、花いっぱいのもちづくりにつとめる。
3. 市の花「あじさい」、市の木「松」などの、緑の育成につとめる。
4. 景観を考慮して、看板等のデザインを工夫する。
5. 公園などの公共施設を、きれいにしよう心がける。
6. 道路、河川、空き地等にごみのポイ捨てをしない。
7. 「福井市を美しくする運動」などには、すすんで参加する。
8. 食品ロスを減らすなど、ごみの減量をする。
9. ごみとして捨てるのではなく、再利用できないか考える。
10. ごみの分別をして、資源ごみのリサイクルをする。



新 実践目標 まちの美化 広がる緑と豊かな心

実践目標の変遷（郷土美化）

- マイはし マイカゴ マイバッグ (H21.1～H23.3)
- とりくもう わが家とまちの 美化運動 (H26.4～H31.3)
- やめよう なくそう ごみのポイ捨て (H23.4～H26.3)
- ふるさとを 今よりもっと 美しく (H31.4～R6.3)

市民憲章とSDGs

『SDGs』とは『持続可能な開発目標（Sustainable Development Goals）』の略

2015年9月に国連サミットで採択された『持続可能な開発のための2030アジェンダ』に記載された2016年から2030年までの国際社会が取り組むべき世界共通の目標です。

「誰ひとり取り残さない」という理念の下、貧困や不平等、格差、気候変動などの問題を解決し、持続可能でよりよい世界を実現するための17のゴールと169のターゲットから構成されています。

安全安心部門の実践内容



4

すすんで きまりを守り 安全で住みよいまちを つくりましょう

実践内容

1. 交通ルールを守り、交通マナーの向上につとめる。
2. 一人ひとりが注意して、火災予防の徹底をはかる。
3. 防犯活動を推進し、安全で明るいまちづくりの実現をめざす。
4. 職場の労働環境を整え、安心して働ける環境をつくる。
5. 社会や地域のルールを尊重し、住みよいまちづくりにつとめる。
6. 時間に余裕を持って行動し、ひとに迷惑をかけない。
7. 一人ひとりが自覚して、明るく正しい選挙をすすめる。
8. ごみは、決められた物、決められた日、決められた場所へ出す。
9. 災害発生に備えて、自主防災組織の活性化や防災意識の高揚につとめる。
10. 福井市民であるという自覚をもって、地域の安全安心に心を配る。



新 実践目標 防犯防災 日々の声かけ 心がけ

実践目標の変遷 (安全安心)

- 鍵かけと 一戸に一灯防犯灯 (H21.1～H23.3)
- まなびあおう 家庭の防犯 地域の防災 (H26.4～H31.3)
- 守ろう 地域のルール 住みよいマナー (H23.4～H26.3)
- たかめよう 交通マナーと 防災意識 (H31.4～R6.3)

実践目標の設定

市民憲章制定45年の節目(平成21年)に、もう一度この憲章に目をむけ、市民一人ひとりが、より具体的に取り組んでもらえるよう、また、日常生活の中で、市民憲章を身近に感じ、実践をとおして、福井市民としての誇りと不死鳥の精神を培ってほしいとの願いから、5つの項目に具体的な目標を設定しました。

実践目標は、より現実的に即した目標とするため、定期的に見直すこととしており、市民憲章制定60周年記念事業の一環として、公募によって新しい実践目標を設定しました。

【実践目標の募集結果】

募集期間 令和5年7月21日～9月22日
応募作品数 2,084作品(553人)
●親切率 459作品 ●健康増進 422作品
●郷土美化 414作品 ●安全安心 401作品
●文化教養 388作品

文化教養部門の実践内容



5

すすんで 教育を重んじ 清らかな文化のまちを つくりましょう

実践内容

1. 地域活動や学習活動を通じて郷土へ愛着を深め、福井の魅力の積極的な発信につとめる。
2. 青少年の健全育成を図る団体や活動にすすんで協力する。
3. 国内外の情報を積極的に取り入れ、国際理解を深める。
4. 福井の歴史的資源や文化財を大切に守り、まちづくりに活用する。
5. 読書や芸術に親しみ、教養を深める。
6. 国民の祝日には国旗を掲げ、国を愛する心の高揚につとめる。
7. 男女がお互いを尊重し、その個性と能力を十分に発揮できる社会をめざす。
8. 親子の成長を支えるため、子どもを育てやすい環境づくりにつとめる。
9. 生涯を通じて公民館などの学習活動に積極的に参加する。
10. 明るく前向きな市民性のかん養につとめる。



新 実践目標 伝えよう 私が知ってる 福いいネ!

実践目標の変遷 (文化教養)

- 見てふれて 知ろうふくいの 文化と歴史 (H21.1～H23.3)
- わがまちふくい まなびで知って 誇りを持とう (H26.4～H31.3)
- //
- ふくいの魅力 学んで知って 広めよう (H31.4～R6.3)

新実践目標 (令和6年4月から令和11年3月まで) 作者紹介

- 1 声かけと 笑顔でうまれる 地域の輪 (豊岡 悦子)
- 2 スポーツで 心も体も さわやかに (山口 真央)
- 3 まちの美化 広がる緑と豊かな心 (30代女性)
- 4 防犯防災 日々の声かけ 心がけ (中学3年生)
- 5 伝えよう 私が知ってる 福いいネ! (辻 貴之)

※年齢、学年は応募当時のもの

団体活動紹介

市民憲章運動を推進していただいている各種団体及びその活動内容をご紹介します。

Phoenix Fukui 60th

福井市壮年会連絡協議会

会員数：約1,095人
加入団体：13団体
設立：昭和52年3月

本会は、各地区の壮年会の活動を尊重しながら連絡協議し、研修旅行、スポーツなどを通じ、会員の生活向上と郷土の発展に寄与するとともに、一家のおやじとして豊かな暮らしと住みよい福井を創造するために、日々活動しています。



Phoenix Fukui 60th

福井市壮年会連絡協議会



♡ 50

壮年の集団は地域づくりの中核的役割を果たしています。より豊かな長寿社会づくり事業を中心に連帯意識と相互扶助の高揚、社会参加の促進及び住みよい地域社会を築くことを目的として、壮年会活動の今後の課題について研究・討議するために開催されるつどいです。

地域づくり # 一家のおやじ # 壮年のつどい

2024/3/3

Phoenix Fukui 60th

福井市連合婦人会

会員数：1,115人
加入団体：12団体
設立：昭和23年6月

本会は、地区の婦人会の皆様が、各種学習会、研修旅行、スポーツなどを通じ、相互に親睦をはかり、会員個人の知性を高め、福井市の元気な母として愛情豊かなまちづくりに寄与できるよう日々活動しています。



Phoenix Fukui 60th

福井市連合婦人会



♡ 150

スポーツを通じて親睦をはかり心も体もさわやかにすることを目的に、地区婦人会対抗の体育祭を毎年開催しています。新型コロナで令和2年は中止になったものの、翌年からはコロナに負けじと継続して実施。毎年笑顔と歓声で会場が包まれる大切な交流事業です。

健康増進 # いっちょらいいで体操 # すずんで健康

2018/11/18

Phoenix Fukui 60th

福井市明るい社会づくり推進協議会

会員数：約1,100人
設立：昭和56年4月1日

本会は、思いやりの心を大事にし、「あったかい!」「ほっとけない!」「ゆずりあい!」「ささえあい!」「まもりたい!」という言葉が、日常的に当たり前になる、信頼と思いやりで結ばれ、安心して心豊かに暮らせる社会の実現をめざして活動をしています。



Phoenix Fukui 60th

福井市明るい社会づくり推進協議会



♡ 100

足羽山西墓地にある無縁墓地は、夏には日差しも差し込まないほどに鬱蒼たる有り様です。その生い茂った草木を、会員をはじめ、ボランティアの方や行政の方など様々な方々と連携して清掃しました。小さな力の輪が広がり、大きな輪に広がるようにと40年以上続いています。

親切奉仕 # 郷土美化 # 明るい社会づくり運動

2023/9/9

Phoenix Fukui 60th

福井市交通指導員会

会員数：119人
設立：昭和51年1月

交通事故のない福井市を目指し、地域住民の交通安全推進や事故防止、交通徳の高揚のため、毎週金曜日を定例活動日とし、交差点や通学路での街頭指導等を行っています。また、四季の交通安全市民運動での街頭広報や啓発活動、交通ルールをわかりやすく伝えるため、女性部による交通安全教室を公民館や児童館等で開催しています。



Phoenix Fukui 60th

福井市交通指導員会



♡ 52

悲惨な交通事故の防止を図ることを目的として、ドライバーに対する赤色回転灯による「見せる」街頭監視の推進を行い、広く市民に交通マナーの向上を呼びかけるため、市内全域の福井市交通指導員が1箇所に集まり街頭活動を行っています。

安全安心 # 交通事故のない福井市

2024/6/7

不死鳥のねがい(福井市市民憲章)推進協議会の主な事業

不死鳥のねがい(福井市市民憲章)推進協議会(以下「推進協議会」という。)では、昭和39年6月28日に制定された「不死鳥のねがい-福井市市民憲章-」の趣旨に基づき、郷土への誇りと愛着を通じ、市民自らの手で、より豊かで住みよい福井市を築くことを目的に、市民憲章の普及・啓発、実践活動の推進に取り組んでいます。また、地区での活動を推進するため公民館ごとに支部がおかれています。

推進協議会・総会

年に一度、推進協議会を構成する関係者が集まり、憲章運動の優良実践者の表彰を行うとともに、前年度の事業報告・決算、当該年度の事業計画・予算案等について審議します。

令和6年度の総会は、6月25日(水)に木ごろ文化ホールにおいて開催されました。



市民憲章制定記念日

市民憲章の制定日である6月28日に、市民憲章の更なる普及・啓発を図るため横断幕やのぼり旗を掲げています。



花いっぱい運動

花いっぱい運動推進の一環として、市内の公民館及び自治会等を対象に春用及び夏用花壇向けの花苗を原価で提供しています。

協力：福井市園芸センター

市民一斉清掃

7月・12月・3月の年3回、それぞれ「夏の福井市を美しくする運動」「秋・冬の福井市を美しくする運動」「春の福井市を美しくする運動」という名のもとに市民一斉清掃運動を展開しています。

その他主唱：福井市自治会連合会、
福井を美しくする会連絡協議会

令和5年度の年間参加者数

実施期間	参加団体数	参加者数
夏の福井市を美しくする運動	651自治会	19,310名
	8校	757名
秋・冬の福井市を美しくする運動	511自治会	11,968名
	13校	892名
春の福井市を美しくする運動	622自治会	19,700名
	12校	699名
合計(延べ)	1,817団体	53,326名

青少年育成
福井市民会議

会員数：約1,500人
加入団体：49支部
設立：昭和59年3月

明日の福井市を担う青少年が、心身ともにたくましく健やかに成長することを願い、家庭・学校・地域及び、行政などの関係団体が連携を図りながら、青少年の健全育成を推進しています。

<https://www.city.fukui.lg.jp/kyoiku/syounen/shimin/p021111.html>

福井市子ども会育成連合会

会員数：約14,000人
市内各地区子ども会
設立：昭和28年5月

市内45地区内にある単位子ども会育成会の連合組織で、地区子ども会育成会相互の連絡協調を図るとともに、子どもたちの健全な育成に努め、健康で明るい社会の実現を図ることを目的として活動しています。

青少年育成福井市民会議

雪道ウォッチングは、2月の第一日曜日に湊小学校児童、光陽中学校生徒、青少年育成推進員、学童安全見守りプロジェクト構成団体員等で行っています。積雪時に歩道が通れなくなったり、雪山で視界が悪くなるなど冬季特有の通学路上のリスクを点検し、危険箇所マップを作成し湊小学校に掲示しています。

2024/2/4

安全安心 # 湊支部 # 雪道 # 危険箇所

福井市子ども会育成連合会

福井市と姉妹都市である「熊本市」及び友好都市である「結城市」の小学6年生が、相互訪問による交流プログラム(郷土学習、体験学習、宿泊学習など)を通じ、互いの都市の歴史・文化に対する理解及び友好を深めることを目的として実施しています。

2024/7/26~28(結城) 8/2~4(熊本)

文化教養 # 熊本市 # 結城市 # 結城秀康 # 横井小樹

花壇コンクール

8月から9月にかけて、花壇コンクールを実施しています。花に囲まれた潤いのある美しいまちづくりを目指し、フラワーロード、プランター、大規模花壇（一般）、小規模花壇（一般）、大規模花壇（学校・企業）の5つの部門について募集し、優秀な花壇を表彰しています。

令和6年度 福井市花壇コンクール

○ 最優秀賞



○ 優秀賞

フラワーロード部門	上新橋フラワーロード（美山）
プランター部門	竹内 きみえ（旭）
大規模花壇（一般）部門	清水南レインボー花壇 虹の会（清水南）
小規模花壇（一般）部門	清水山下 よつば会（清水南）
大規模花壇（学校・企業）部門	福井市至民中学校（社南）

○ 審査員特別賞

小規模花壇（一般）部門	若米町自治会（東藤島）
大規模花壇（学校・企業）部門	福井市大東中学校（円山）

○ 優良賞

プランター部門	ひまわり会（清水東）
小規模花壇（一般）部	大森町寿クラブ（陸月神事の里）（清水西）



詳しくはQRコードから

支部活動



推進協議会には49の支部（市内の49地区公民館が支部となっている）があり、美化運動や健康づくり運動など市民憲章5部門に基づいた実践活動を展開しています。

福井市区域図



木田支部：あったかイルミネーション



木田支部では、市民憲章の普及を目的に、住民の健康増進や地区の環境美化活動などに取り組んでいます。子どもから大人まで参加する手作りのイルミネーションが、地域に安心と癒しの灯りをとめています。

豊支部：豊小学校グランド清掃活動

豊



豊支部では、市民憲章の実践目標に基づく活動の一環として、「夢あふれるまちみどり」をモットーに、毎年あじさい元気クラブの皆さんと児童が協力しての清掃活動を行うとともに、様々な郷土愛を育む活動に取り組んでいます。

足羽支部：門松作り



足羽支部では、5つの実践目標に基づく活動として、足羽山トンネル清掃や花壇整備などの美化活動に取り組むとともに、地元の材料を使い、地区の方々と大型の門松を作るなど様々な活動に取り組んでいます。

湊支部：ゴミステーション設置



湊支部では、市民憲章運動として5つの部門に分かれて活動しており、郷土美化部門では「越前湊さくら祭」や「湊フェスティバル」といった大きな行事の際にゴミステーションを設置し、来場者に分別回収を指導することで会場を綺麗に保っています。

春山支部：ボランティア活動～がんケア用品の作成



春山支部では、近年では新たに社会貢献事業として「がん患者に贈るケア用品の作成」のボランティア活動を展開しています。また、地区の人的資源である小中高校・大学などの教育機関と連携し、「川清掃」「橋本左内先生生誕祭」を実践し、清新な文化と歴史のまち・学びのまちづくりに取り組んでいます。

宝永支部：宝永れきしカルタウォーク



宝永支部では、地区の歴史を再確認してもらうため、「宝永れきしカルタ」を利用し、「カルタウォーク」を実施しています。また、冬場の健康増進を目的に、小学生から高齢者までが参加する卓球大会を開催しており、60回を数える大会となっています。

順化支部：福井城址お堀の灯り



順化支部では、築城以来の往時を偲ぶとともに、空襲や震災などで亡くなった人々への心からの鎮魂の意を捧げ、市民ぐるみのまちづくりを推進するため、「福井城址お堀の灯り」を開催しています。

松本支部：いざという時の護身術



松本支部では、「みんなが住みたい、魅力いっぱいのまち、笑顔あふれるまち、松本」のテーマのもと、市民憲章の5つの実践目標に関する様々な活動に主体的に取り組んでいます。

日之出支部：あいさつ運動



日之出支部では、登校する児童・生徒たちに、「おはよう」の声かけをしながら、「あいさつの大切さ」を学んでもらうことを目的に、長期休業明けの3日間、小中学校の校門付近や通学路交差点等で、地域の方々の協力を得ながら「あいさつ運動」を行っています。

旭支部：荒川水質調査



旭支部では、歴史と伝統が息づく地区として、多くの文化遺産を継承する活動とともに、小学生を対象に継続開催している「荒川水質調査」による環境活動や美化活動などに取り組んでいます。

日新支部：底喰川の清掃美化活動



日新支部では、まちづくり組織による定例清掃、自治会連合会による年3回の一斉清掃、福井商業高校、藤島中学校の生徒によるボランティア活動など、地区をあげて底喰川清掃に取り組み、高水敷に咲き誇るミソハギを楽しむ「ミソハギ花まつり」を実施しています。

清明支部：食育と農業への理解啓発活動



清明支部では、地域の方の協力のもと、子どもの食育と農業への理解・啓発を目的に、児童による手作業での田植えや稲刈りの学習に取り組むとともに、収穫した米を、児童がおにぎりにすることで米飯のおいしさや作る人への感謝の心を醸成しています。

東安居支部：子どもたちの居場所づくり



東安居支部では、地区の未来ビジョン「つながる・ひろがる・東安居」のスローガンのもと、福井工業大学と連携した「プログラミング教室」や、平日放課後の時間を利用した「キッズダンス教室」など、子どもたちの「好き」を大切に居場所づくりに取り組んでいます。

社南支部：地区のシンボル



社南支部では、公民館のイメージアップ、メッセージを伝えるツールとして「付箋アート」を実施するとともに、就職・大学進学など人生の岐路にたっている至民中学校卒業生に対して、「励ましと応援」の想いを込めて卒業生が作った「クラスター旗」を掲げています。

社北支部：あいさつ運動



社北支部では、地域でより良いコミュニケーションが図られることを目指し、あいさつ運動を実施するとともに、健康増進・文化教養などの実践目標に基づく取り組みや、豊かな自然と歴史を活かした、明るく元気な、地域づくりに努めています。

社西支部：花いっぱい運動



社西支部では、社西地区ふれあいまつりのウォーキングで、社西小学校の花壇に花を植えるなど「花いっぱい運動」に取り組んでおり、四季折々の花たちに囲まれた地域となるように地区住民と共に活動しています。

麻生津支部：SDGsの推進



麻生津支部では、ショッピングシティベルと麻生津・清明・社南公民館との「SDGsの推進に係る連携と協力に関する協定書」に基づき、3地区と企業が連携して市民憲章推進活動に子どもたちと共に取り組んでいます。

和田支部：赤大豆でつなげる地域の輪



和田支部では、地域の特産にすべく「和ん田ふる農園」と名付けられた園場や和田小学校で赤大豆を栽培しています。収穫した赤大豆は煮豆や豆ご飯などとして地域の催しや給食で楽しまれており、赤大豆を通して新しい地域交流の輪がつながっています。

円山支部：健康ウォーキング



円山支部では、SDGsの目標である「3. 全ての人に健康と福祉を」実践するために、近辺の史跡を巡る「円山健康ウォーキング」を毎年開催し、健康づくりや郷土学習、地区住民の親睦を図っています。

啓蒙支部：ファミリーウォーク



啓蒙支部では、平成2年に支部体制を5部会に整備することで部会活動を活発に推進しており、「はんの木、芝原用水、丸山」をデザイン化した啓蒙（KEIMO）のシンボルマークをたどるファミリーウォーク、歴史探訪などの活動を実施しています。

岡保支部：スティックリングで健康増進



岡保支部では、10年目を迎えた「公民館サロン」を開催し、コミュニティパスOKABOの利用率アップと、地域の皆さんの元気と健康づくりに取り組むことで楽しい交流の場作りを行っています。

東藤島支部：東藤島を花いっぱい！



東藤島支部では、昭和43年の福井国体から続く運動の一環として全自治会が花壇づくりに取り組み、地区内でコンクールを実施するとともに、夏祭りに花苗を配付するなど地区を挙げて「花いっぱい運動」に取り組んでいます。

西藤島支部：ファミリーウォーク



西藤島支部では、「こんにちはファミリーウォーク」～名所史跡・桜並木のみち「西藤島」を歩こう～を毎年4月初旬に開催し、ベビーカーの幼児からシニア世代まで、みんなで元気に歩いています。

中藤島支部：JASS LIVE



中藤島支部では、「JASS LIVE」をはじめました。地区住民が自由に参加できる場を設けることで、交流の輪を広げ「ずっと住みたい」と感じられる幸福度の高い「笑顔あふれるまち」となることを目指して新たなまちづくりに努めています。

河合支部：ほっとコンサート



河合支部では、公民館教育事業とも連携して、年間10回程度「ほっとコンサート」を開催し、音楽を通して地区住民の情操を育むことで、田園地帯に音楽が流れるところ豊かな生活を送れる地区を目指しています。

森田支部：モルック大会



森田支部では、美化運動として老若男女を問わず参加できる「九頭竜川クリーン作戦」や「花いっぱい運動」に加え、健康増進としてニュースポーツの「モルック大会」を開催することで、地域の輪を広げる活動に取り組んでいます。

明新支部：明新しいね！絵手紙コンテスト



明新支部では、まちの風景や人とのふれあい、地区で体験した行事など明新地区にある「いいね！」と感じたモノを絵手紙にして応募するコンテストを令和3年から開催し、優秀作品を公民館や地域の郵便局で展示しています。

安居支部：お買い物バス『あごころ』



安居支部では、車を運転できない方や免許返納後の高齢者の買い物を支援するために、地元の高齢者福祉施設の送迎用バスを活用した、無料のお買い物バス『あごころ』の運行を開始し、高齢者にも優しいまちづくりに取り組んでいます。

一光支部：花いっぱい運動

一光



一光支部では、訪れる方をお出迎えするために、地区の入口である上一光町の白山神社前に花壇を作っています。過疎化によって担い手が少なくなる中で維持に苦労していますが、福井市市民憲章の「すすんで」の精神を胸に活動に奮闘しています。

殿下支部：大人と子どものふれあい交流会



殿下支部では、市民憲章の5項目に沿って、地区住民の地域活動への積極的参加を促すことはもちろん、実践目標の一つ「スポーツで心も体もさわやかに」に基づき、地域内外の人々との交流を図りながら、健康で元気あるまちづくりに取り組んでいます。

越廼支部：ふるさと写真展



越廼支部では、小中学生に地域への愛着を深めてもらうため、毎年、公民館まつりで「ふるさと写真展」を開催し、小中学生が地区内で撮影した写真を展示するとともに、優秀作品を表彰しています。

清水西支部：児童見守り活動



清水西支部では、住民ボランティアによる見守り隊を組織し、清水西小学校の児童の登下校を見守ることで安全で安心なまちづくりに取り組んでいます。また、「花いっぱい運動」の一環として、全自治会に花苗を配布し、花壇コンクールも実施しています。

清水東支部：自治会花壇用花苗づくり



清水東支部では、花壇整備、花苗の種まきからポットあげまでを実施し、花苗を各自治会花壇へ配布することで実践目標である「まちの美化 広がる緑と豊かな心」に沿った活動を行っています。

清水南支部：花いっぱい運動

清水南



清水南支部では、実践目標の「まちの美化 広がる緑と豊かな心」に基づき、「花いっぱい運動」に毎年多くの地区住民が参加しており、花であふれた魅力あるまちづくりに熱心に取り組んでいます。

清水北支部：花いっぱい運動



清水北支部では、花と緑に溢れた美しいまちづくりを目指して、地区在住の中学生と協力しながら、花壇とフラワーロードづくりを行っています。種から花苗を育て定植することに加えて、循環できる活動につなげるために、秋には種取りも行っています。

大安寺支部：花いっぱい運動



大安寺支部では、福井国体以来、花いっぱい運動として、すかつとランド九頭竜前の花壇の整備を行っています。毎年、いろいろな種類の苗を植えたり、花の種をまくなど、道行く人たちに楽しんでもらっています。

国見支部：ふるさと探訪



国見支部では、地元の魅力を地区の子ども達に伝えるために「ふるさと宝さがし」（小学生）、「ふるさと探訪」（中学生）を実施すると共に、高齢者の健康増進のために「すこやか学級出前講座」を行っています。

鶏支部：健康体操



鶏支部では、「健康に・楽しく・住みやすい」町づくりを目指して、頭と身体を使った健康体操を月に1回継続的に実施しており、毎回、男女問わず幅広い世代の方々が多く集まることで楽しく健康増進に励んでいます。

桑支部：三里浜海岸清掃活動



桑支部では、毎年6月に「海のクリーン作戦」と称して、地区住民が一斉に三里浜海岸の清掃活動を行っています。近年は隣接するテクノポート企業にも呼びかけて参加者を増やし、郷土の海岸の美化に努めています。

鷹巣支部：町の美化活動



鷹巣支部では、市民憲章にある「清潔で美しいまち」を目指し、緑化に対する住民意識の向上やボランティア活動の活性化を図るため、公民館周辺や花壇、海岸の清掃活動を積極的に進めています。

本郷支部：花いっぱい運動



本郷支部では、小学校と連携し、休耕地を活用した季節の花を植えた花壇づくりや、雑草で覆われた荒地を自治会の協力で整備し、子ども達とコスモスの種をまくなど、花いっぱい運動の実践活動に取り組んでいます。

宮ノ下支部：花でつるつるいっぱい大咲戦



宮ノ下支部では「住んでよかった宮ノ下、住みたくなるまち宮ノ下」をビジョンに掲げ、素晴らしい自然環境を守りながら清潔で美しいまちになるよう、地域の清掃活動や「花でつるつるいっぱい大咲戦」等の活動に取り組んでいます。

酒生支部：マイタイムライン研修会



酒生支部では、近年増えている自然災害への備えと行動、SNS 問題に対する講習を行うことで、地区住民の防災防災の意識を高めるとともに、コミュニケーションを取りながら助け合える安全安心な住みよいまちづくりに取り組んでいます。

一乗支部：公民館周辺の清掃活動と餅つき交流会



一乗支部では、毎年12月に地区住民に呼びかけて公民館と周辺の清掃活動を実施しています。子ども達には公民館周辺の県道のゴミ拾いをしてもらい、周辺を一回りする頃にはたくさんのゴミが集まります。清掃活動後は餅つきで交流をしています。

上文殊支部：ふるさとウォーク



上文殊支部では、文殊山祭において、健康増進部門「ふるさとウォーク」を開催し、小学生をはじめとした幅広い年齢層の地区住民が山登りを楽しむとともに、地元で摘んだよもぎ入り「文殊菩薩餅」をふるまうなど、交流を深めています。

文殊支部：通学路の危険箇所点検活動



文殊支部では、毎年、防犯隊・小学校・PTA・自治会・推進員・公民館による児童の通学路の危険箇所点検を実施するとともに、児童が安心して登校できるよう付き添い登校及び青パトの巡視を行う等、安全安心なまちづくりに取り組んでいます。

六条支部：「教えて先輩」文化活動



六条支部では、市民憲章にある「すすんで教育を重んじ」に沿って文化活動を行うとともに、伝統的に「子どもは地域の宝、地域で子どもを育てよう」という気風に満ちており、次世代育成のため、全力で子どもを応援しています。

東郷支部：花いっぱい運動



東郷支部では、「すすんで くふうをこらし 清潔で美しいまちをつくりましょう」に基づき堂田川周辺花壇に美しい花を植栽し、子どもも大人もみんなが住みたくなるまちになるように花いっぱい運動に取り組んでいます。

美山支部：フラワーロード花いっぱい運動



美山支部では、実践目標である「まちの美化 広がる緑と豊かな心」に基づき、国道 158 号線沿いの 500 メートルにもおよぶフラワーロードを整備し、花いっぱい運動に取り組んでいます。

実行委員長あいさつ



市民憲章制定 60 周年記念事業実行委員会
実行委員長 吉川 雄二（福井市教育長）

『不死鳥のねがい』を伝え、受け継ぐ

令和 6 年度は『不死鳥のねがいー福井市市民憲章ー』が制定されて 60 年の節目であることから、数々の記念事業を展開してまいりました。

今回の記念事業は、普段、市民憲章に触れる機会の少ない方、特に若い世代への市民憲章の浸透を念頭に事業を実施しました。『福井市市民憲章デザインコンテスト』では、今までの市民憲章のイメージとは異なる若い世代の目に留まるようなかわいらしいデザインが選ばれ普及・啓発に活用しております。

また、『越前朝倉万灯夜』では訪れた方々に災害から復興を成し遂げた不屈の精神と燃える郷土愛を伝えるために、不死鳥マークをキャンドルライトで作りました。

そのほかにも『夏期巡回ラジオ体操・みんなの体操会』の開催や『はたちのつどい』での PR、市民憲章の多言語化などにより、広く市民憲章を PR できたのではないかと思います。

記念大会は、福井南高等学校の生徒に協力をいただきながら運営し、式典では、市民憲章デザインコンテストの優秀作品表彰に加え、日頃からのまちの美化活動への感謝を込めて花壇コンクールの表彰もさせていただきました。式典終了後には、若者の地域活動への参加についてのトークセッションを行うとともに、アルピニストの野口健さんの基調講演を開催し、今後の活動に向けた貴重な学びの機会となりました。

最後に、今回の記念事業に御協力いただきました関係者の皆様には深く感謝申し上げるとともに、これを契機に『不死鳥のねがいー福井市市民憲章ー』の精神が次世代の方々の心に刻まれ、市民憲章運動が、具体的な市民の活動としてこの先 70 年、そして 100 年に向けて受け継がれていくことを祈念し、記念誌発刊に際しての挨拶とさせていただきます。

不死鳥のねがい（福井市市民憲章）制定60周年記念大会

日 時：令和6年11月30日（土）12時30分～15時40分
会 場：福井県生活学習館（ユー・アイふくい）
参加者：約600人

【市民憲章の制定とあゆみ】



【記念式典】

開会の辞（竹原康一・記念事業部会長）
国歌斉唱
市民憲章唱和（豊岡悦子・実践目標考案者）
会長あいさつ（西行茂・福井市長）
表 彰
福井市市民憲章デザインコンテスト優秀作品表彰
令和6年度福井市花壇コンクール表彰
来賓祝辞（池上優徳・福井市議会議長）
来賓紹介
協力者紹介（福井南高等学校）



【アトラクション】

GraceJETS
（福井商業高等学校チアリーダー部OG）

【トークセッション】

発表者：松本地区まつり振興会 坪川 善文
かみもん LAB. 川崎 耕介
福井南高等学校 清水虎太郎
進行役：福井大学国際地域学部 田中 志敬 准教授

地域活動やまちづくり活動を実践されている方々が自身の団体を紹介した後、トークセッションを行い、若者が地域と関わるために必要な土壌づくりなどについて掘り下げていきました。

発表者からは、若者のやりたいことを応援する姿勢を大切にしていることや、受け入れられていると感じることで参加のモチベーションが上がるといった意見が出ました。



【記念講演】



講師：アルピニスト 野口 健 氏
演題：「富士山から日本を変える
～山から学んだ環境問題～」

世界最年少（当時）で7大陸最高峰を登頂した登山家で、国内外で山岳清掃活動に御尽力されている野口健氏を講師に招き「富士山から日本を変える～山から学んだ環境問題～」をテーマに記念講演を行いました。

ご自身の目で見てこられた富士山やエベレストの現状、現在まで取り組んでこられた山岳清掃活動について御紹介いただきました。

野口氏のやさしく、ユーモラスでありながらも真剣な語り口に皆さん聞き入っていました。



詳しくはQRコードから



不死鳥のねがい(福井市市民憲章)制定60周年記念事業

市民憲章デザインコンテスト

今まであまり市民憲章に触れることのなかった方々にも興味を持っていただくことを目的に「市民憲章デザインコンテスト」を開催し、市民憲章のキービジュアル(メインビジュアル)を公募しました。19作品の応募があり、その中から選考により決定しました。

最優秀賞 南 藍子 さん (福井情報ITクリエイター専門学校)



題名:「永遠の祈り」

「不死鳥のねがい」から受けるイメージを素直に表現し、炎の中で願う不死鳥を描きました。とさかの色は、「親切奉仕、健康増進、郷土美化、安全安心、文化教養」の5つをイメージしています。このビジュアルおしゃれだなという目線からも興味を持ってもらいたいと思い、特に色使いや文字のデザインにこだわりました。題名には、先の未来もこれをお願い、永遠に貫いてほしいという思いを込めました。

特別賞

鷺田 未来 さん
(仁愛女子短期大学)



題名:
「未来への前進」

活用事例

様々な印刷物やイベントで使う立て看板、ノベルティ等に活用されています。

今後も、幅広い世代の方に市民憲章に興味を持ってもらえるように、様々な機会を通じて活用していきます。



※市民憲章制定50周年の際には、公募により不死鳥のロゴマーク(目次に掲載)を決定しました。

この不死鳥のロゴマークは市民憲章の普及のために様々な場面で使われており、今後も使用していきます。

夏期巡回ラジオ体操・みんなの体操会

「夏期巡回ラジオ体操・みんなの体操会」を20年ぶりに福井市で開催しました。

小雨が降るあいにくの天気にもかかわらず、早朝から675名の方にお集まりいただきました。

市民憲章を唱和した後、岡本美佳さんの指導のもと、細貝終さんの生のピアノ演奏にあわせて、ラジオ体操第一、第二が行われ、市民憲章の実践目標「スポーツで心も体もさわやかに」にあるとおり、参加者の皆さんは大きな掛け声とともにさわやかな汗を流していました。



と き:令和6年7月30日(火) 6時~7時

ところ:福井市フットボールセンター(福井市安田町)

お疲れさまネ!



越前朝倉万灯夜

「越前朝倉万灯夜」は、平成16年7月に発生した福井豪雨からの復旧の願いを込めて地区有志が力を合わせてキャンドルを灯したのが始まりです。

今回は福井豪雨発生から20年にあたることから、災害からの復興を記念し、「夢・創造足羽会」と協力し、600個以上のキャンドルライトで不死鳥マークを作りました。訪れた方々の心には、暗闇に揺らめく不死鳥の姿とともに、災禍にめげず立ち上がった市民憲章の精神が伝わったものと思います。



と き:令和6年8月24日(土) 16時~20時30分

25日(日) 10時~20時

ところ:一乗谷朝倉氏遺跡



福井市子ども会写生大会

幼い頃から市民憲章に触れることで、大人になってからも市民憲章を身近なものと感じてもらえるように「福井市子ども会育成連合会」が実施している「福井市子ども会写生大会」に市民憲章特別賞を設けました。応募のあった2,573作品の中から、きれいな花壇やみんなが考える「福いいネ！」な場所を描いた7点の絵を選考しました。



【幼児の部】 あさがお



【小学3年生の部】
新幹線開業を祝うブルーインパルス



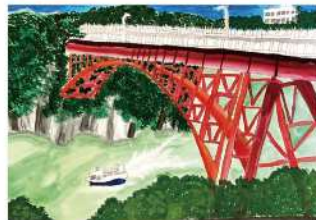
【小学1年生の部】
きょうりゅうはくぶつかん



【小学4年生の部】 弟のアサガオ



【小学2年生の部】 やっと入れた夏休みのプール



【小学5年生の部】 赤い大きな橋



【小学6年生の部】 九頭竜川の上流で



10月20日（日）に表彰式が行われ、入賞作品は10月20日（日）から10月23日（水）までの4日間、アオッサ1階アトリウムで展示されました。



クリーンアップ作戦

北陸新幹線開業により多くの方が福井に訪れていただいているなか、「清潔で美しいまち」としてお迎えするために、「クリーンアップ作戦」を行いました。

休日にもかかわらず、564名の方にお集まりいただき、清掃活動を行いました。



と き：令和6年9月28日（土）8時30分～10時

ところ：福井駅周辺、一乗谷朝倉氏遺跡

令和6年度福井市はたちのつどい

『はたちのつどい』では、各所に市民憲章のキービジュアルをあしらうとともに、PR動画を放映したり、ペンライトを使いホールを参加者全員でフェニックスカラーに輝かせるなど、イベント全体を通してはたちの方々に市民憲章をPRしました。

と き：令和7年3月23日（日）

13時30分～14時15分

ところ：フェニックス・プラザ



詳しくはQRコードから

市民憲章多言語化

時代の変化に伴い、様々な文化や言語を持った国や地域の方が、福井市に暮らしています。そういった方々とも同じ福井市民として、ともに支えあいながらまちづくりを行っていく必要があります。

実践目標が見直されたことを契機に、市民憲章制定60周年記念事業の一環として市民憲章の多言語化を実施しました。

多くの方に唱和していただけるように、公用語を考慮して英語、ベトナム語、中国語、ポルトガル語に翻訳しました。

英語

The Wish of the Phoenix Fukui City Citizens' Charter

We, as citizens of Fukui, feel great pride in the "Phoenix City" Fukui, and have a deep sense of responsibility for our own community.

We shall work together to achieve prosperity, pursue happiness, and shall fulfill the Wish of the Phoenix with an indomitable spirit.



Practical goals
(April 2024 ~ March 2029)

1 We shall do kindness and create a community full of affection

Let's call out and join hands with a smile across the community

2 We shall be ready to take care of ourselves and make our community bright and lovely

Refresh the mind and body through sports

3 We shall be willing to think creatively and make our community clean and beautiful

Beautify the town with a rich heart and expanding greenery

4 We shall observe the rules and make our community safe and comfortable

Stay in touch, with crime and disaster prevention in mind

5 We shall value education and make our community fresh and full of culture

Spread to every soul about the great Fukui we all know

(Established June 28, 1964)

The Wish of the Phoenix (Fukui City Citizens' Charter) Promotion Council

ベトナム語

YÊU CẦU TỪ PHƯỢNG HOÀNG ĐIỀU LỆ CÔNG DÂN THÀNH PHỐ FUKUI

Chúng ta cảm thấy kiêu hãnh và có trách nhiệm khi là công dân của thành phố Phượng hoàng Fukui

Cùng chung sức xây dựng địa phương thành một nơi phồn thịnh, hạnh phúc. Làm theo những yêu cầu này với một tinh thần kiên định không lùi bước



Thời hạn thực thi
(Tháng 4 năm 2024 ~ tháng 3 năm 2029)

1 Ngày càng thân thiện
Xây dựng một thành phố giàu yêu thương

Cộng đồng địa phương để bắt chuyện và vui vẻ

2 Ngày càng khỏe mạnh
Xây dựng một thành phố sôi nổi và năng động

Làm mới cơ thể cũng như tinh thần bằng thể thao

3 Ngày càng tỉ mỉ cẩn mẫn
Xây dựng một thành phố sạch đẹp

Làm đẹp, phủ xanh thành phố và tạo ra những tâm hồn bình yên, hạnh phúc

4 Tuân thủ quy tắc
Xây dựng một thành phố an toàn đáng sống

Luôn ghi nhớ phòng chống tội phạm, thiên tai

5 Chú trọng việc học tập
Xây dựng thành phố văn hóa tiến tiến

Hãy truyền đạt đi. Tôi biết đó. May mắn nhé!

(Ban hành ngày 28 tháng 6 năm 1964)

YÊU CẦU TỪ PHƯỢNG HOÀNG (ĐIỀU LỆ CÔNG DÂN THÀNH PHỐ FUKUI) HỘI ĐỒNG XÚC TIẾN



よろしくネ!

< 国 籍 別 > 外国人の人口 (上位8カ国)

各年10月1日現在

年 度	総 数	第 1 位	第 2 位	第 3 位	第 4 位	第 5 位	第 6 位	第 7 位	第 8 位	その他
令和元年	4,694	中 国 1,386	ベトナム 820	韓 国 798	フィリピン 550	ブラジル 196	タ イ 155	朝 鮮 95	インドネシア 93	601
2 年	4,565	中 国 1,260	ベトナム 960	韓 国 775	フィリピン 537	ブラジル 190	タ イ 135	朝 鮮 89	インドネシア 85	534
3 年	4,253	中 国 1,071	ベトナム 968	韓 国 740	フィリピン 512	ブラジル 179	タ イ 124	朝 鮮 81	インドネシア 79	499
4 年	4,631	中 国 996	ベトナム 972	韓 国 755	フィリピン 605	ブラジル 186	インドネシア 178	ネパール 171	タ イ 136	632
5 年	5,012	ベトナム 1,124	中 国 951	韓 国 717	フィリピン 640	インドネシア 293	ネパール 218	ブラジル 178	ミャンマー 142	749

出典:令和5年度版 福井市統計書

中国語

不死鸟的心愿 福井市市民宪章

我们作为不死鸟福井的市民而感到自豪和责任感。

为了家乡的繁荣和幸福，将齐心协力，不屈不挠的气概贯穿在这个心愿中。



实践目标期间 (2024年4月~2029年3月)

1、前进, 创建一个亲切而充满爱情的城市。

一声问候 地域迎来 欢声笑语

2、前进, 创建一个健康、明朗而有活力的城市。

体育运动 你我身心 清新爽快

3、前进, 努力创建一个清洁、美丽的城市。

美化家园 青山绿水 赏心悦目

4、前进, 创建一个遵守规定、安全、方便的城市。

防犯防灾 日夜警惕 加强意识

5、前进, 重视教育, 创建一个具有清新文化的城市。

大力宣传 为我家乡 福井点“赞”

(1964年6月28日制定)

不死鸟的心愿(福井市市民宪章)推进协议会

ポルトガル語

O Desejo de Fênix Estatuto dos Cidadãos de Fukui

Sentimo-nos orgulhosos e responsáveis como cidadãos da "Cidade Fênix" Fukui e, para promover a prosperidade e a felicidade da cidade natal,

Vamos unir forças e realizar este desejo com espírito inabalável.



Meta em prática
(abril de 2024 à março de 2029)

1 Vamos ser gentis e criar uma cidade cheia de amor

Um círculo comunitário criado através de saudações e sorrisos

2 Vamos cuidar da nossa saúde e criar uma cidade brilhante e vibrante

Refresque sua mente e corpo com esportes

3 Vamos trabalhar juntos e criar uma cidade limpa e bonita

Embelezando a cidade com ampla vegetação e o coração generoso

4 Vamos seguir as regras e criar uma cidade segura e habitável

Tenha em mente o pensamento diário à ação de prevenção da criminalidade e catástrofes

5 Vamos valorizar a educação e criar uma cidade cheia de cultura

Vou falar o que eu sei sobre as maravilhas de Fukui

(Estabelecido em 28 de junho de 1964)

Conselho de Promoção do "Desejo de Fênix" (Estatuto dos Cidadãos de Fukui)



福井市を「こんなまちにしたい！」

若者から福井市を「こんなまちにしたい！」という意気込みをいただきました。



泊 優佳

(SAGA2024 全国障害者スポーツ大会 福井県代表)

私は福井市を「障がい者、健常者関係なくスポーツで盛り上がるまち」にしたい！

スポーツの中でも、障がい者スポーツは「障がい者のためのスポーツ」と捉えられてしまうことが多いですが、「障がいを持っている人もそうでない人もみんな楽しむことができるスポーツ」です。

障がい者スポーツの魅力を発信し、そうした認識を一人でも多くの人に持ってもらいたいと思います。そのために、私は陸上競技で活躍し、福井市に元気と希望を与える活動や、イベントなどに積極的に参加し、障がい者スポーツの楽しさを発信する活動を能動的に行っていききたいです。



60



栃倉 瑠奈

(令和6年度 福井市はたちのつどい実行委員長)

私は福井市を「たくさんの人から愛されるまち」にしたい！

北陸新幹線によって、いろいろなところから福井を訪れてくれる方々に福井の魅力を伝えていきたい。そのために特産物をアピールするのはもちろん、私たち若者の目線から福井の素晴らしい場所や歴史を広めていきたい。また、私は福井の強みである「住み良さ」という点を多くの人に知ってもらうとともに、豊かな自然、健康長寿、ボランティア活動が盛んであることを知ってもらい、福井で暮らすことの素晴らしさも広めていきたい。



60





高柳 量海

(令和6年度 福井市はたちのつどい実行委員)

私は福井市を「あいさつでみんなが絆を深め、つながり、明るい笑顔があふれるまち」にしたい！

そのために私は、自らすすんであいさつをしたいです。あいさつは、子どもからお年寄りまで、世代を超えた交流につながり、他人の存在の大きさに気づききっかけになると考えています。人とつながりを持つことで、自分が誰かを助け、誰かに自分も助けてもらう、そんな助け合いがあふれるまちにしたいです。



60



竹内 唯

私は福井市を「もっともっと活気づけて、明るく元気なまち」にしたい！

現在、ダンスをとおして皆様に笑顔と元気をお届けしています。ご覧になっていただいた方に前向きな、ポジティブな気持ちになっていただけるよう、これからも活動を続けていきたいです。

私は福井市を「もっと自分らしく、生きやすいまち」にもしたい！

そのために、障がいを持っている方が、仕事をはじめとしたやりたいことにどんどん挑戦できるような、制度や設備が整った、障がいを持っている方に優しいまちづくりに貢献したいです。



60





梨香子

河原 梨香子

私は福井市を「笑顔があふれるまち」にしたい！

そのために、私が現在、取り組んでいるチアダンスのパフォーマンスをとおして笑顔を発信することはもちろんですが、日々の生活の中でも笑顔でいることを心掛け、一人でも多くの方に笑顔を届けていきたいです。私の笑顔がみんなに広がって、みんなで笑い合えるまちになるようにがんばります！



60



咲季

小林 咲季

私は福井市を「夢を叶えられるまち」にしたい！

私には「ダンスで福井を元気にしたい！自分のダンスで大好きな地元を盛り上げたい！」という夢があります。その夢のためには、職場をはじめとした周囲の方の理解と協力が必要ですが、みんなが働き方の調整をはじめ様々な提案をしてくれました。そのおかげで夢に向かって行動することができ、充実した毎日を送っています。

また、友人も「自分のカフェを開きたい」という夢を叶えて、生き生きと輝きながら働いています。

思いやりがあり、元気いっぱいな福井市民と一緒に福井市が“夢を叶えられる場所”になるように応援していきたいです。



60



令和6年度 不死鳥のねがい(福井市市民憲章) 推進協議会 役員名簿

役職名	所属名(職名)	氏名	役職名	所属名(職名)	氏名
顧問	福井市議会 議長	池上 優徳	常任委員	(公社) 福井市スポーツ協会	倉野八十夫
参 与	福井商工会議所 会頭	八木誠一郎		福井市文化協会	坂本 紫崖
	(福) 福井市社会福祉協議会 会長	野坂 鐵郎		「小さな親切」運動福井支部	佐々木昭博
	福井市老人クラブ連合会 会長	西川 征男		福井を美しくする会連絡協議会	佐藤 昇
会 長	福井市長	西行 茂		福井市レクリエーション協会	森永ひとみ
副会長	福井市自治会連合会 会長	山崎 栄一		福井市老人クラブ連合会	栗田 公二
	福井市公民館連絡協議会 会長	中村 准		福井市交通指導員会	山下徳太郎
	福井市連合婦人会 会長	田村 洋子		福井市防犯隊	伊藤 仁実
常任委員長	福井市教育長	吉川 雄二		福井市消防団	出口 敏雄
常任委員	福井市社会教育委員の会議	加藤三重子		(福) 福井市社会福祉協議会	内田 弥昭
		新田 義和		福井市民生児童委員協議会連合会	山本 正男
		前田誠一郎		福井市明るい社会づくり推進協議会	神浦 正昭
		間 和生		福井商工会議所	高山 浩
		天谷 弘之		(公社) 福井青年会議所	金木 隆敏
		吉川 義則		(公財) 福井市観光協会	岡部 俊哉
		竹原 康一		福井市公民館運営審議会連絡会	見谷 貞次
		丸山 俊男		福井市小学校長会	松原 義之
		井村 彰男		福井市中学校長会	牧田 菊子
	福井市自治会連合会	松平 久芳		福井市連合青年団	梅澤あゆみ
		宮崎 伸市		学識経験者	野口つぎ代
		橋本 鉄弥		学識経験者	野口 正人
		田中 知司		福井市総務部長	清水 拓
		齋藤 秀樹		福井市財政部長	佐藤 弘幸
	青少年育成福井市民会議	果守 光		福井市教育部長	山本 誠一
	福井市連合婦人会	滝波 春美	監 事	福井市自治会連合会	野尻 正紀
	福井市子ども会育成連合会	鷺山 幸吾		福井市公民館連絡協議会	坂田 浩一
	福井市PTA連合会	吉田 武美		福井市会計管理者	荒谷 聖二
	福井市壮年会連絡協議会	田中 義乃			

市民憲章制定60周年記念事業実行委員会名簿 (令和5,6年度委員併記)

所 属 名 (職名)		氏 名		役 職
令和5年度	令和6年度	令和5年度	令和6年度	
実践目標部会				
福井市公民館連絡協議会		前田誠一郎		部 会 長
学識経験者		野口つぎ代		副部会長
福井市公民館連絡協議会		丸山 俊男		
福井市自治会連合会		橋本 鉄弥		
福井市連合婦人会		大森 悦子	滝波 春美	
福井市公民館運営審議会連絡会		田安 敏男	見谷 貞次	
福井市小学校長会		松原 義之		
福井市PTA連合会		山川 敏之	吉田 武美	
福井市壮年会連絡協議会		田中 義乃		
公益社団法人 福井市スポーツ協会		倉野八十夫		
福井市防犯隊		伊藤 仁実		
福井市民生児童委員協議会連合会		山本 正男		
福井を美しくする会連絡協議会		佐藤 昇		
公益社団法人 福井青年会議所		金木 隆敏		
福井市教育部長		林 俊宏	山本 誠一	
福井市連合婦人会		田村 洋子		オブザーバー
記念事業部会				
福井市公民館連絡協議会		竹原 康一		部 会 長
学識経験者		野口 正人		副部会長
福井市公民館連絡協議会		岩永 利明	新田 義和	
福井市公民館連絡協議会		天谷 弘之		
福井市自治会連合会		辻 元	田中 知司	
福井市自治会連合会		野尻 正紀	宮崎 伸市	
福井市社会教育委員の会議		加藤三重子		
福井市レクリエーション協会		森永ひとみ		
福井市交通指導員会		山下徳太郎		
福井市消防団		出口 敏雄		
公益財団法人 福井市観光協会		和田 真生	岡部 俊哉	
社会福祉法人 福井市社会福祉協議会		内田 弥昭		
福井商工会議所		永田 幸也	高山 浩	
福井市財政部長	福井市総務部長	清水 拓		
福井市自治会連合会		奥村 清治	山崎 栄一	オブザーバー
記念誌編集部会				
福井市公民館連絡協議会		井村 彰男		部 会 長
福井市文化協会		中嶋 宗聖	坂本 紫崖	副部会長
福井市公民館連絡協議会		間 和生		
福井市公民館連絡協議会		吉川 義則		
福井市自治会連合会		松平 久芳		
福井市自治会連合会		掛谷 龍一	齋藤 秀樹	
福井市子ども会育成連合会		鷺山 幸吾		
福井市中学校長会		牧田 菊子		
福井市老人クラブ連合会		栗田 公二		
福井市連合青年団		梅澤あゆみ		
青少年育成福井市民会議		果守 光		
「小さな親切」運動福井支部		佐々木昭博		
福井市明るい社会づくり推進協議会		神浦 正昭		
福井市総務部長	福井市財政部長	齊藤 正直	佐藤 弘幸	
福井市公民館連絡協議会		中村 准		オブザーバー

(順不同)

編 集 後 記

令和6年3月16日、待ちに待った北陸新幹線が福井に延伸したことで首都圏と直接つながり、福井市は新たな時代を迎えました。そのようなときに、「不死鳥のねがい-福井市市民憲章-」が制定60周年を迎え、新たな実践目標の設定や、各種記念事業が開催されました。このような時代の節目に立ち会うことができたことの喜びとともに、次代を担う若者に市民憲章の精神を受け継がなければならないという責任の重さを感じました。

今回の制定60周年記念事業を契機に、これからの市民憲章運動がさらなる発展を遂げることを願います。

最後に、本誌の発行にあたり御協力いただきました皆様に心から感謝申し上げますとともに、市民憲章運動の益々の発展と、福井市民の一層の御健勝と御多幸を祈念申し上げます。編集後記といたします。

(市民憲章制定60周年記念事業実行委員会 記念誌編集部一同)